

第 15 期第 1 四半期業績のご報告  
 (平成 22 年 7 月 1 日～平成 22 年 9 月 30 日)

平成 22 年 12 月 吉日  
 日本システムバンク株式会社  
 代表取締役社長 野坂 信嘉

当四半期における当社を取り巻く環境は、政府の経済政策効果や猛暑の影響による個人消費の回復が見られた一方で、雇用環境の厳しさやデフレ状態など、先行き不安の状況が続きました。

このような環境の中、当社は、不動産市況の悪化により増加した遊休地の有効活用を行うべく、積極的な営業展開を首都圏中心に実施致しました。また、既存物件の収益改善・固定費圧縮を強力に実施し、採算性の向上に努めました。

CPシステム運営事業においては、既存物件の収益改善に注力し、不採算事業地の解約・賃料引下げ・料金設定の見直し等を推し進めた結果、売上高 589,993 千円(前年同期比 95.1%)となりました。

CPシステム販売管理事業においては、同業他社との差別化を、戦略的営業活動によって推し進めた結果、売上高 459,658 千円(前年同期比 113.4%)となりました。

プロパティマネジメント事業においては、全国の物件を集中管理、維持管理の効率化と満室経営の実現を推し進め、堅調に推移しております。売上高は 78,313 千円(前年同期比 95.6%)の結果となりました。

分譲マンション事業においては、「免震構造」等の素晴らしい特徴を有しているタワーグランデCHA への反響が引き続き多く、他のマンションを含めた客付けに良い影響を与え、その販売は堅調に推移致しました。売上高は 308,046 千円(前年同期比 146.7%)の結果となりました。

その結果、当四半期における売上高は 1,436,123 千円(前年同期比 108.9%)と伸長致しました。

セグメント別の業績は以下の通りであります。

事業区別	金額	前年比
CPシステム運営事業	589,993 千円	95.1%
CPシステム販売管理事業	459,658 千円	113.4%
プロパティマネジメント事業	78,313 千円	95.6%
分譲マンション事業	308,046 千円	146.7%
その他	113 千円	13.8%